

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 10

令和3年12月24日発行

校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子
徳 心豊かで思いやりのある子
体 進んでやりぬくたくましい子

自分で自分を褒める自分に！

太田 等

17日以降、まとまった雪が降りはじめ、辺りは冬らしい銀世界へと様変わりしてきました。本日は終業式を開催し、第2学期を無事に終了させることができました。

終業式では、私から今学期の子どもたちのがんばりをモニターで紹介した後、概ね以下のことをお話ししました。

皆さんは、この2学期いろいろな目標を立て、それに向かって挑戦し、その中でたくさんのことを学んできました。人は「目標」「挑戦」「学び」そして「感謝」によって成長します。ですから、皆さんは間違いなく成長しています。

終業式は、1つのゴールです。自分の頑張りを褒め讃え、もう少しだったところは、次につなげることを確認（評価）する場です。ですから、この2学期の中で、頑張った自分の姿を思い出し、大いに褒めてあげてください。自分で自分を褒めることは自分にとって、とても大切なことです。褒めた分だけ「自信」になります。「自信」のある人は負けない、諦めない強い心をつくっていくことができます。そして、自信のある人は人の話をしっかり聞ける心の広い強い人になります。

明日からいよいよ冬休みです。皆さんが「楽しかったなと思える冬休み」になるように、3つのお話をします。

○ 決めて(計画を立て)動いたら、自分をほめよう

今日することは何か、明日することは何か、をしっかりと決めて1つ1つゴールしていけば、「がんばった！」という、うれしい気持ちになります。無理な目標を立てることはありません。自分のできそうな計画を立て、そして、計画したことができれば、自分で自分を「よくがんばったね！」と褒めましょう。そうすれば楽しくなります。できなかった時は、くよくよせず、次をがんばりましょう。

○ 人の話をよく聞いて、感謝の言葉を伝えよう

人の話をしっかり聞こうとすることは、相手を大事にしようとする事になります。そうすれば、相手も自分の話を聞こうという気持ちになります。そうするとお互いに話を聞き合う対話のキャッチボールができます。反対に相手の話を受け取らずに、自分の話を聞かせようとするのをドッチボールといいます。キャッチボールを心掛けましょう。

そしてもう一つ。相手に何かしてもらったら「ありがとう」という感謝の言葉を伝えましょう。「ありがとう」という言葉は、言った方も言われた方も「生きる力」が湧いてくる魔法の言葉です。自分の頭(脳)を良くし、心の広く豊かな自分をつくり上げていきます。

コロナ禍などで、心の余裕や人同士のコミュニケーションが薄らいでいる今こそ、感謝の言葉はますます大切です。

○ 交通事故やけがに気をつけよう

冬休みは、夏休みと違ってスリップ事故など冬特有の交通事故が多く発生します。ですから、特に道路(横断歩道)を渡る時は、右見て、左見て、もう一度、右を見て、車が来ないのを確認して渡るようにしましょう。また、車に乗ったら必ず、シートベルトをつけて自分を守りましょう。また、ストーブでやけどなどしないように気を付けましょう。事故やけがから自分を守って楽しい冬休みにしましょう。

以上が、子ども達にお話したことです。

保護者地域の皆様には、たくさんのご理解とご協力を賜り、第2学期を無事終了させることができました。改めて御礼申し上げます。第3学期始業式は令和4年です。子ども達の元気な登校の姿を職員一同、心よりお待ちしております。

本年も後数日となりましたが、保護者地域の皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

